

船舶事故等調査報告書

平成21年4月23日

運輸安全委員会(海事専門部会)議決

| | | |
|------------|---|---|
| 事故等番号 | 2009仙第13号 | |
| 事故等名 | 貨物船第八あきつ丸衝突(岸壁) | |
| 発生年月日時刻 | 平成20年7月11日10時10分ごろ | |
| 発生場所 | 宮城県石巻市石巻港大手4号岸壁 (概位 北緯38° 25.2'、東経141° 16.1') | |
| 事故等調査の経過 | 調査の概要:平成21年1月30日仙台・地方事故調査官が海難報告書を入手し、船長から口述聴取 原因関係者からの意見聴取:意見なし | |
| 事実情報 | 船種・船名・総トン数 貨物船 第八あきつ丸 498トン 船舶番号 135063 船舶所有者等 株式会社イコーズ | |
| 乗組員等に関する情報 | 船長 三級海技士(航海) | |
| 負傷者 | なし | |
| 損傷 | 球状船首の凹損及び塗装剥離 | |
| 事故等の経過 | 本船は、菜種粕500トン及び大豆粕700トンを積載し、船首2.88m、船尾3.35mの喫水をもって、茨城県鹿島港を宮城県石巻港に向けて出港した。石巻港に入港し、大手ふ頭4号岸壁に右舷付けで着岸しようと岸壁にほぼ直角に接近中、平成20年7月11日10時10分ごろ、機関を全速後進としたが正船首が同岸壁上部のゴム製防舷材に衝突した。 当時、天候は曇で風力4の北東風が吹き、潮候は下げ潮の初期であった。 | |
| 分析 | 気象・海象の関与 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 判明した事項の解析 | なし あり なし 本船は着岸時、普段より船首喫水が深く、船体コンディションが違っていてもかわらず、いつもと同じ時機に機関を後進にかけて減速しようとしたものと考えられる。 |
| 原因 | 本事故は、本船が着岸中、操船を適切に行わず、過大な速力となったため、岸壁に衝突したことにより発生したものと考えられる。 | |
| その他の事項 | なし | |